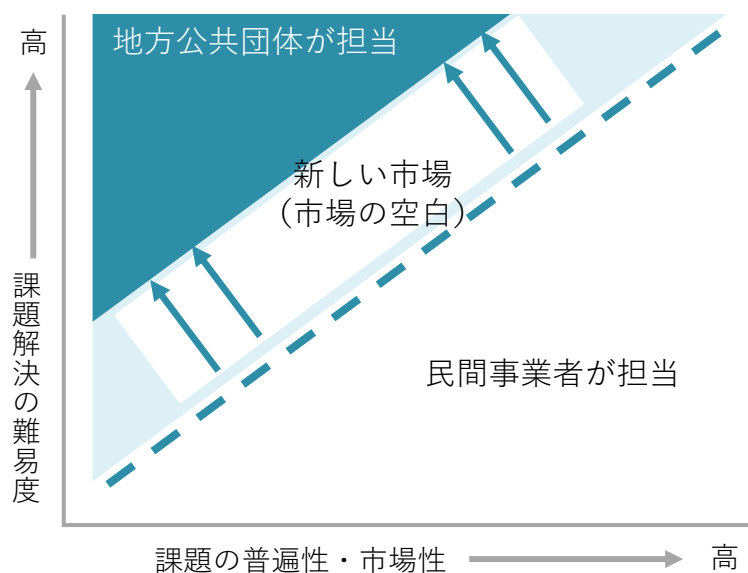


官民連携促進の背景

- 行政の課題が複雑化・増加する一方で、財政は逼迫し、マンパワーは不足。
- 他方、デジタル技術等の活用により、企業が、ビジネスとして当該課題の解決に取り組める可能性があり、官民連携により実現性と持続性を高められる可能性がある。
- ヘルスケア分野も同様で、企業からの連携ニーズは高い。

官・民が担える領域の変化



ヘルスケア企業の声

地域の中で支援が必要な人にサービスを展開したい

実証を行い、最適化されたサービスを開発・提供したい

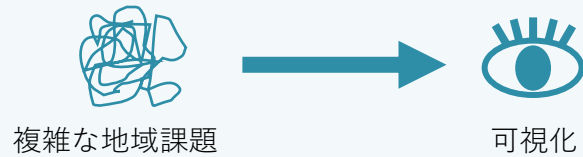
地域に展開するにあたり、接点が多い

地域現場に通用するビジネスモデル化や、社会的信用力を向上したい

ガバメントピッチ概要（自治体×ヘルスケア企業 課題解決プロジェクトの創出）

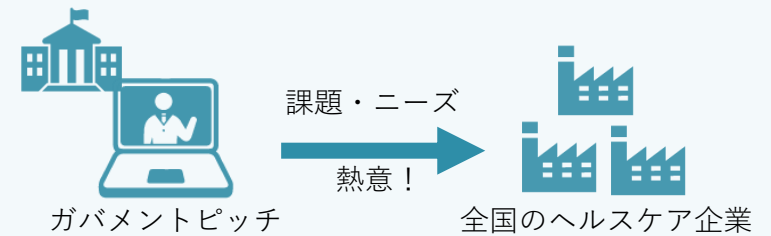
- 自治体が地域課題を整理・深掘りし、全国のヘルスケア企業に向けて発信。
- 全国の斬新な技術を持つ企業から、実効的な課題解決策を提案を受けて自治体と企業の共創型の官民連携を創出。

STEP1 課題の可視化



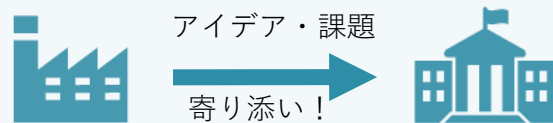
実現したい未来から課題を特定！

STEP2 課題の発信（ピッチ）



わかりやすく、熱意を持って課題を発信！

STEP3 解決方法の提案



単なる製品紹介

製品紹介ではなく、解決に向けた提案！

STEP4 マッチング・実証協議



共創のマインドで連携！

ガバメントピッチのメリット

- 過去にガバメントピッチに登壇した自治体に聞く主なメリットは以下のとおり。



課題の明確化

課題を伝える課程で、日頃感じていた課題を明確化できる。



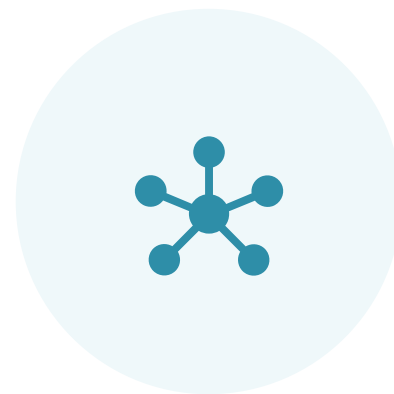
柔軟な発想

自治体には無い、企業の柔軟な発想を取り入れられる。



新たな気付き

企業との対話の中で、企業が感じる課題感等、新たな気付きを得られる。



企業との接点

域内外の多くの企業と接点を持つことができる。

取組のポイント

Point 1 ガイドライン



取り組む内容が明確

官民連携の案件組成に向けて取り組むべき内容がわかる。

Point 2 参考様式



時間の短縮

参考様式を活用して課題整理、資料作成等に取り組むことで、作業時間を短縮。

Point 3 伴走支援

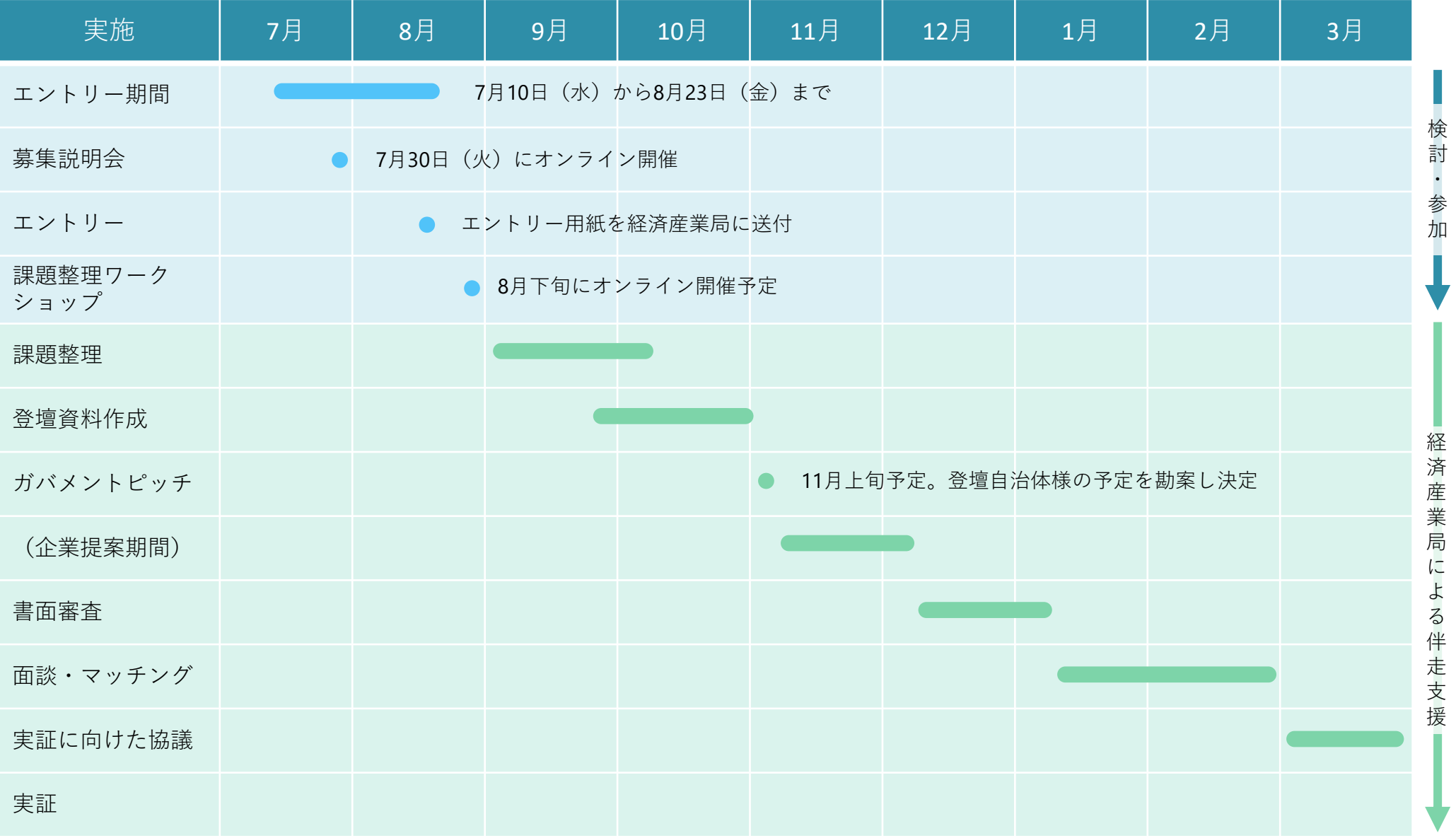


第三者目線 企業との橋渡し

経済産業局が伴走で、第三者目線の提供や企業との話し合いをサポート。



スケジュールイメージ



取組自治体の声

当市でも **自治体だけでは解決に難航する課題**に企業から提案をうけて、市民の未来の健康に輝きを！と**夢のような政策に取組みたい**と希望しました。

企業の皆さんからの提案を聞いて、**今までなかった視点**やなにより新しい技術に触れ、知ることができ、**課題解決に向けて可能性を感じました。**

未来を想像しながら取り組むことができたので**率直に楽しかった**です。

今回、ガバメントピッチの取り組みに参加して、**地域の課題について改めて目を向ける機会**となり、**個人的に非常に学ぶことの多い経験**となりました。